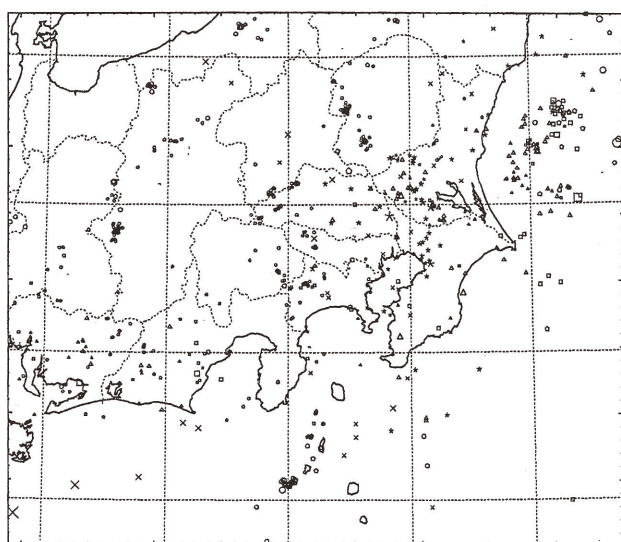


2月の地震活動

関東・東海地域における地震活動では、マグニチュード(M) 4以上の地震は5個観測されたが全般に静寂であった。神津島付近で2月21日8個、25日16個の群発地震が観測され、最大地震は2月25日のM.3.7であった。1月中旬の活動域は今回よりやや北よりである。M4以上の深発地震は2個であった。

M4以上の地震を以下に示す。

日	時	深さ(km)	M	震央地名
2/6	19:31	411	5.3	紀伊半島南東沖
2/7	04:23	62	4.2	埼玉県東部
2/11	07:27	5	4.5	茨城県東方沖
2/20	01:12	22	4.2	茨城県東方沖
2/26	05:23	354	4.2	遠州灘



人事異動

3月4日付 配置換 科学技術庁原子力局調査国際協力課国際原子力協力企画官 小畔 敏彦
昇 任 管理部企画課長 今井 寛

国際交流

2.15～2.26 幾志 新吉(先端解析技術研究部長) 諸星 敏一(先端解析技術研究部主任研究官) 自然災害軽減のための研究文献データベースに関する討
論のため (アメリカ)

2.17～2.27 大倉 博(先端解析技術研究部隔測解析研究室長) 共同研究に関する討論と、情報交換及び研究対象地域の地上調査を行うため (タイ王国)

2.26～3.9 竹田 厚(総括地球科学技術研究官) 国際防災の10年科学技術委員会第6回会議出席及び日米科学技術協定に基づく「局地的な激しい気象に対する防災技術に関するワークショップ」報告書作成刊行についての打合せ (アメリカ)

3.2～3.17 矢崎 忍(先端解析技術研究部主任研究官) アジアモンスーン機構に関する研究衛星画像データベース利用法の協議、第3回日中合同作業部会出席 (中国)

3.5～3.24 葛葉 泰久(気圏・水圏地球科学技術研究部水循環研究室研究員) 水文データ調査及び現地流域調査のため (タイ王国)

3.5～3.11 藤縄 幸雄(特別研究官) 大倉 博(先端解析技術研究部隔測解析研究室長) SARインターフェロメトリー共同研究に関する協議のため (アメリカ・カナダ・フランス)

主な来訪者

2月14日(火) JICA個別研修「土木工学」コスタリカ研修員

2月15日(水) 栃木県芳賀町消防委員会

2月20日(月) 日立管内商工行政連絡協議会

2月21日(火) 山形県高等学校文化連盟(新庄)

2月22日(水) 沖縄市議会議員ほか(新庄)

2月23日(木) JICA集団研修

「油圧とその応用」研修員

2月27日(月) 豊後高田市議会議員ほか

2月28日(火) 猿島郡三和町議会議員ほか

3月10日(金) 日本救急医学会

編集兼 防災科学技術研究所

発行 〒305 茨城県つくば市天王台3-1

TEL (0298) 51-1611 (代)

(再生紙使用)